

東北生活文化大学



被服材料学実験室 (家政学科・家政学専攻)

家政学専攻の被服材料学実験及び被服整理学実験に使用します。被服材料の性質や性能、被服の管理や加工について、機器や装置を使用して科学的な実験を行い理解を深めます。



給食経営管理実習室 (家政学科・健康栄養学専攻)

管理栄養士養成のためHACCPに基づいた最新の給食実習室を完備し給食経営管理実習を行います。管理栄養士、調理師、事務等に役割を分担し、献立作成、食材発注、衛生管理を伴う食材検収・調理・配膳等、安全で美味しい食事の提供と、喫食調査、嗜好調査、栄養教育等についての一連の実習を行います。



アトリエC (生活美術学科)

生活美術学科では、学生が美術工芸の様々な分野を自由に選択し学ぶことのできるカリキュラムを組んでいます。その中で特に絵画を主とした制作にアトリエを使用しています。学年ごとに独自のアトリエが設けられ、ゆったりとしたスペースの中で、授業時間は勿論のことフリータイムで制作することができます。近年は平面作品の他にもオブジェやインスタレーションなどの立体を制作する学生が増えています。

東北生活文化大学短期大学部

衣生活実習室 (生活文化学科・生活学専攻)

主に生活学専攻1・2年次の衣生活実習(洋裁)及び課題研究に使用します。衣生活実習では立体構成の基本的な理論と平面裁断による製図・縫製の実習を行います。課題研究では、ウェディングドレスなどを製作し、公開展示発表を行っています。



ピアノ練習室 (生活文化学科・子ども生活専攻)

音楽棟には音楽室、レッスン室、ピアノ練習室があり、主に子ども生活専攻の学生が使用しています。音楽室やレッスン室では、保育士に必要な音楽的能力を培うため音楽理論やピアノ実技の授業を行います。練習室は開放しており、学生がいつでも利用できるようにしています。練習に専念できる防音設備の個室です。

キャンパス散策(東北生活文化大学 東北生活文化大学短期大学部)



三島学園は1900年(明治33年)の東北法律学校、1903年(明治36年)の東北女子職業学校の設立に始まります。その後、地域の先駆的な女子教育機関として地歩を固め、第二次世界大戦後の学制改革の時期に、多岐にわたる変革があり、1951年(昭和26年)に三島学園女子短期大学を、ついで1958年(昭和33年)に三島学園女子大学を設立しました。1987年(昭和62年)には、時代の趨勢に応え、大学に男女共学制を取り入れて東北生活文化大学へと改称しました。最近、短大も男女共学として、校名を東北生活文化大学短期大学部に変更して改組し、大学・短大の連携体制を一層強固なものにしました。

大学は、家政学部の単一学部からなり、家政学科と生活美術学科の2学科をおき、学園の歴史と伝統を生かし、生活文化に関わる科学性と芸術性の追求を教学の理念としております。家政学科では、家政学の科学的な考察と実習を通して生活科学への探究心を備えた人材の育成に努めていますが、2年前からこの学科を2つの専攻に分け、多彩な授業科目で「人・被服・健康・食・栄養」について総合的に学ぶ家政学専攻と、栄養士と管理栄養士資格取得を目指す健康栄養学専攻を設置して学生の教育に当たっております。一方、生活美術学科では、生活と美の融合を志向する独創性の豊かな創造者と指導者の育成に当たっており、仙台圏で唯一の美術系高等教育機関として多くの優れた教育者と芸術家を送り出しております。



短大生活文化学科は家政学教育の伝統を受け継ぎ、日常生活に密着した衣食住の学習と技術研修や情報処理の教育を中心としておりますが、平成17年度からは生活学専攻と子ども生活専攻の2専攻に編成替えし、後者は指定保育士養成施設として新しく発足しました。

大学・短大とも少人数教育のもと、教員との触れ合いを通して高い教養と人間性の豊かさが培われるものと確信しており、また、家政、健康栄養、美術・芸術、情報、保育の各分野の教育と研修に特に力点を置いた高等教育機関として、入学者の期待に応えております。



地域に開かれた大学・短大を目指して

大学・短大は地域に開かれた大学を目指して様々な取組をしております。主な取組行事は下記のとおりです。



三島学園公開講座・東北生活文化大学講演会

学外から有識者を招き、学生が広い視野と柔軟な思考で積極的に勉学に取り組む姿勢を養うことと、本学と地域社会の教育的・文化的交流を育む生涯教育事業の一環として学外の人にも開放している行事です。これまで、辺見庸氏（芥川賞作家）「旅と食の風景…私が見てきたこと」、養老孟司氏（元東京大学教授 解剖学者）「美を考える脳」、小林カツ代氏（料理研究家）「食は美の世界」、今年は生活美術学科創設40周年の記念行事をも兼ねて映像作家の村田朋康氏を招き、「俺の路／仙台主情主義」と題した氏の作品上映と「俺の仕事」というタイトルで作品への思いや製作過程について興味ある多彩な話をうかがいました。

公開講座

毎年、本学園の大学・短大教員による一般市民向けの公開講座を開催し、多数の受講者から好評を得ております。

みやぎ県民大学「大学開放講座」

宮城県教育委員会と本学との共催の公開講座で、今年は「環境と健康～21世紀の健康学」というテーマで行いました。「高等教育ネットワーク・仙台」公開講座

仙台市教育委員会と本学との共催の公開講座で、今年は「講座仙台学2005～学都。その過去・現在・未来」というテーマで行いました。



みやぎ県民大学



高等教育ネットワーク・仙台

生活美術学科「卒業制作展」

生活美術学科に学ぶ学生は美の追求という目的意識が明確で、表現活動の1つである、学生・卒業生・教職員による学外での展覧会も頻繁に行われています。とりわけ毎年市街地の“せんだいメディアテーク”で行われる卒業制作展は市民の高い評価を得ております。



高校生のためのデッサンセミナー

美術系大学への進学希望者はもとより、美術に関心のある高校生や一般の方を対象に、美術の基礎的な技術向上とデッサンの楽しさを学んでもらうことを目指した夏の行事です。参加者は50名を越え盛況でした。